
夏の失恋

上谷博

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夏の失恋

【Nコード】

N8681D

【作者名】

上谷博

【あらすじ】

夏祭りで失恋してしまった、自分。

今日、夏祭りに行ってきた。

ただ、友人と馬鹿騒ぎして帰ってくる。

それだけのはずだった・・・。

だが、行かなければよかったと後悔している。

あの人が彼氏といた。

私と違い、かつこよかった。

彼女の行った高校だから、頭もいいのだろう。

噂には聞いていたけど、間近に見たことはなかったのに・・・。

思えば、小学生のころから彼女が好きだった。

気持ち悪いほど、一途だった。

読書仲間として知りあって、結構仲良くやってきた。

中学の時、同じ塾に入ってきたときは、天にも昇る気持ちだった。

中学を卒業した後の春休み、二人きりで散歩したこともある。

なんで、あの時彼女に告白しなかったんだろう。

やはり、自分には度胸がなかったとしか言えない。

あの時なら、まだ米粒ほどの希望でも残っていたのに。

彼氏ができたと知ってしまったら、告白することもできないのに。
悔やんでも悔やみきれない、これほどまで自分を恨めしく思ったこともない。

私は愚かだったのだ。

あの人は私のことをどう思っていたんだろうか。

恋愛対象としては見ていなかったと思う、でも、好意はあった思いたい。

だがもはやそんなこと、どうでもいいんだ。

すべては終わってしまったんだから。

・。祭り、私には、一生、初恋が破れた、場所として記憶されるだろう・

そう、一生、永遠に・・・。

（後書き）

自分の経験をもとに書いてみました。
告白はしたほうがいいですよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8681d/>

夏の失恋

2010年12月19日02時29分発行